



靴磨き選手権大会  
2024

ルールと審査項目に関して



磨く靴や道具

後述の詳細をご参照ください

制限時間  
(磨く時間)

片足の場合10分間・両足の場合20分間

審査方法  
審査員

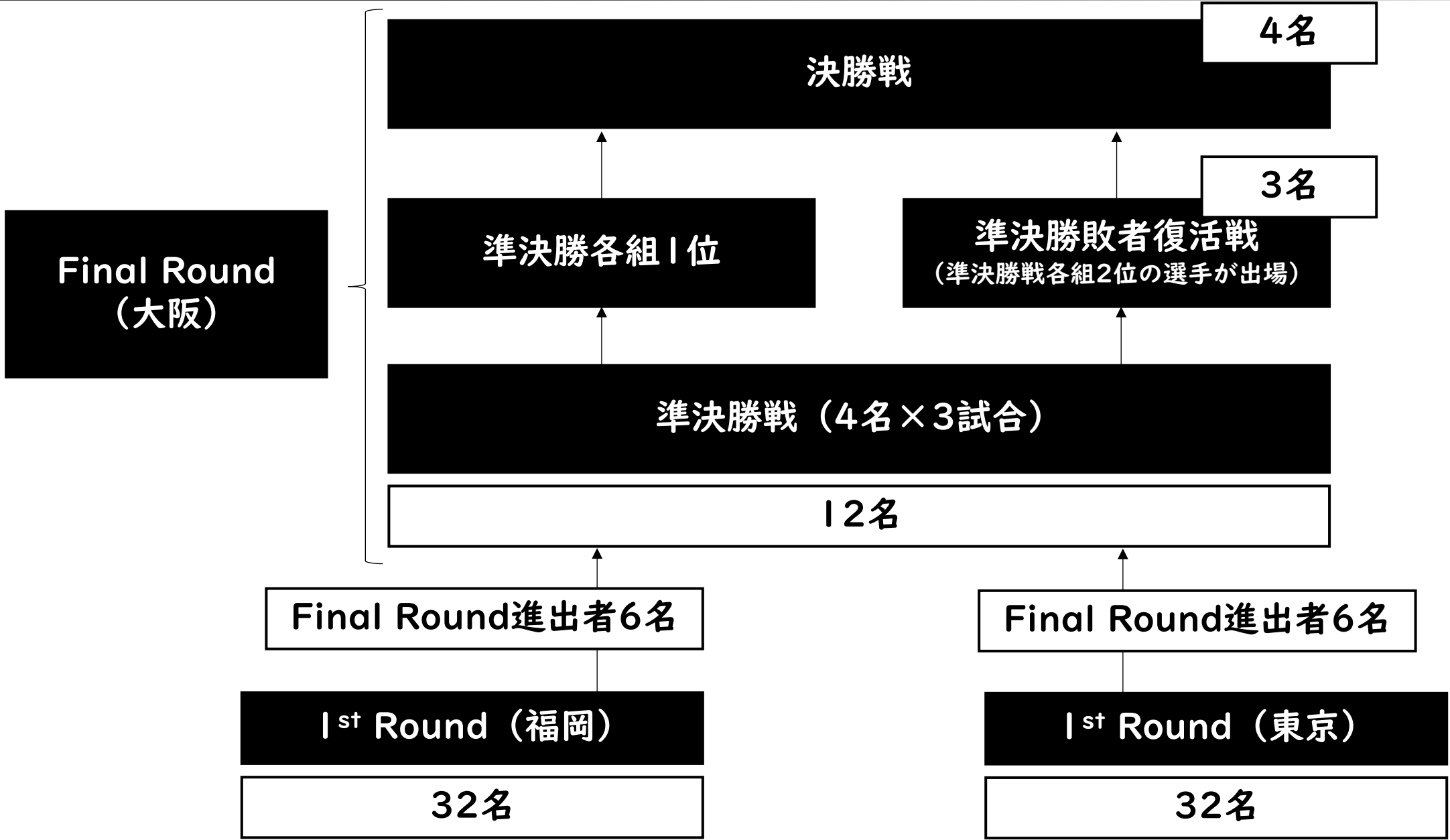
①テクニカルポイント②プレゼンテーションポイント③アディショナルポイントの合計点にて勝敗を決める  
審査員は大会本部が選出したテクニカル審査員とプレゼンテーション審査員が行う

競技の流れ

磨く靴の確認→使用する道具選び→磨き→\*プレゼンテーションタイム

\*プレゼンテーション  
タイムとは

磨き後に各選手に対して設けられる45秒間の説明タイム。  
内容は基本自由ですが  
「誰（どんな方）に向けての磨きか」「磨いた靴に関しての話」  
「磨きにおいて何をポイントにしたか」  
の3要素は必ず盛り込んでください



運営側で  
準備する  
モノ

項目	詳細
使用する靴	同ブランド&同モデル&同素材&同カラーの新品のシューズ (*1st Roundの1回戦のみサイズ差や左右差が生じます)
クリーム等の磨きに使用する用品	大会認定用品 (乳化性クリーム、ワックス、クリーナーなど別紙参照)
磨き台	W900×H1100×D450の磨き台を1台ずつ準備はしますが 磨くスタイルは自由です

選手が  
持ち込み  
可能なモノ

ブラシ	個数及び素材は自由 (禁止事項: 予め溶剤や水分等を含ませたものは禁止)
クロス	枚数及び素材は自由 (禁止事項: 予め溶剤等の水以外のものを含ませたものは禁止)
その他	磨き椅子、ハンドラップ、水など必要なモノ (禁止事項: 電源を要するモノ、火気厳禁のモノ、自身の磨きスペースを越えるモノ)

	テクニカルポイント (靴磨きの基本的な技術)	プレゼンテーション ポイント (靴磨きを通じた表現力)	アドিশョナルポイント (審査員特別点)
審査員	テクニカルポイント 審査員	プレゼンテーションポイント 審査員	テクニカルポイント プレゼンテーションポイント 審査員
審査観点と点数算出方法	①コンディショニング ②光沢 ③グラデーション ④完成度	①ワクワク感 ②説得力(性)	審査項目では測れない 審査員を唸らせたポイントが あった際に入る加点項目
配点	審査員の得点を合算し、 人数で等分して点数を算出する	審査員の得点を合算し、 人数で等分して点数を算出する	審査員の得点を合算し、 人数で等分して点数を算出する
	80点	20点	*加点対象 最大5点



# テクニカルポイント（靴磨きの基本的な技術）

黄色部は磨く姿を見て審査  
 その他はブラインド審査（＝靴のみを見て審査）

## テクニカルポイント （靴磨きの基本的な技術）

## 靴磨き職人として求められる基本的な技術の項目

コンディショニング	①コンディショニング 力	ブラッシング、汚れ落としやクリームの塗布を含め、 革の状態に合わせて的確かつ十分に保革を行っているか	10点
光沢	②光沢& 透明度	光沢の強さ・透明感のある仕上がり	25点
グラデーション	③グラデーション	グラデーションのメリハリ、 継ぎ目にムラがない美しい磨きか否か	20点
完成度	④光沢の均一性	光沢のムラがないか	各10点 合計20点
	⑤ゴミや傷が ついていないか	靴にネルの残りや傷がないか	
	⑥左右差がないか (1 <sup>st</sup> roundの1回戦は無し)	左右で仕上がりに差がないか	5点
			合計80点
加点対象 *審査員特別点	*審査員判断	審査項目では測れない審査員を唸らせたポイントがあった際 に入る加点項目（ <u>ブラインド審査のみ</u> を活用） (観点例：磨きの仕上がりのバランス、新たな磨きへのチャレンジなど)	最大5点

プレゼンテーションポイント  
（靴磨きを通じた表現力）

靴磨き職人としての魅力を高める表現力

審査の方向性

プレゼンテーション審査は  
靴磨きの技術面だけではない靴磨きとそれに関する表現力を審査する  
（＝人の魅力、個性を複合的に審査する）

ワクワク感

磨いている姿やスタイル、所作等にワクワクして、  
またこの人に磨いてもらいたいと思うか  
（プレゼンテーションタイム\*でパフォーマンスも含む）

説得力（性）

プレゼンテーションタイム\*で今回の磨きのポイントや魅力を  
わかりやすく説明できたかどうか  
また、その内容と磨きに整合性がついているか

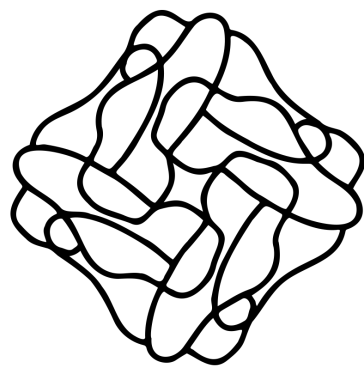
各10点  
合計20点

加点対象  
\*審査員特別点

\*審査員判断

審査項目では測れない審査員を唸らせたポイントがあった際  
に入る加点項目（**磨く姿及び磨いた靴を見て審査**）  
（観点例：所作、磨きの仕上がりのバランス、新たな磨きへのチャレンジなど）

最大5点



靴磨吉選手権大会  
2024